

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年六月度 入選句（投稿総数一千八百五句・小中学投句数千七百七十句）

特選

選者 西田 拓郎

きもだめしひめいでおばけがにげていく 大垣市

田口 礼華(小五)

夏の夜にみんなでたのしむ肝試し。お化けなんではないとわかっけていてもなぜか怖い。お化け役の人はみんなを驚かせてやろうと最初は意気込んでいました。でも、みんなはなかなか来ません。驚かすどころか一人でいるのが心細くなってきました。その時です。誰かが悲鳴を上げました。びつくりしたのはお化け役です。一目散に暗闇から明るい方へ逃げ出しました。そんな想像ができるたのしい俳句です。季語は「肝試し(きもだめし)」です。

あたらしい水ぎのかたひもすぐずれる 大垣市 山田 ゆあん(小二)

買ってもらった新しい水着が自慢のゆあんさん。かわいしいし、おしゃれです。海水浴も最高に楽しくなります。でも、やっぱり新しい水着は少し大きめです。肩ひもが少しずつずれてきます。少し気になります。でも、ゆあんさんは伸び盛りです。すぐにびつたりの水着になりますよ。うれしさや喜びの中にも少し困ることがあるという事実を見逃さずにとらえていますね。季語は「水着(みずぎ)」です。

こいのぼりわたしが帰るとしっぽふる 大垣市 黒原 ゆうか(小三)

ゆうかさんが元気に帰ってきたのでこいのぼりもうれしくてしっぽをふったのでしよう。こいのぼりは男の子だけのものではなくて、女の子のためにもあるようですね。なぜなら、こいのぼりはゆうかさんのことが大好きなようですから。

自分が帰ってくるとこいのぼりはしっぽを振るのだというとらえかたがユニークです。季語は「鯉幟(こいのぼり)」です。

秀逸

父の日にキャッチボールを父さんと 大垣市 森 亮(小六)

夏の海もぐると見える魚たち 大垣市 栗山 千晶(小六)

かきごおりどうしてあたまいたくなる 大垣市 伊藤 陽優(小二)

ほたるさんでんきをつけてどこいくの 大垣市 吉岡 泰基(小二)

ありさんよぼくのおやつはとらないで 大垣市 いとう しゅんすけ(小二)

ばあちゃんのおうめぼし食べて口すぼむ 大垣市 糺矢 みう(小三)

母の日に兄弟で書いたかんしゃじょう 大垣市 伊藤 賢心(小四)

だんご虫あるいとふんじやうよ 大垣市 加藤 れな(小四)

夏つばめやっぱり今年もぼくんちに 大垣市 伊藤 誠章(小五)

つばめの子空とぶ練習がんばるぞ 大垣市 近藤 勇之介(小五)

入選

準決勝 夏風かりてホームラン 大垣市 安藤 潤(小六)
 かたつむりはっぱのうえでひるねかな 大垣市 いちはら あきら(六才)
 たまねぎころんころんころがるよ 大垣市 山田 なな子(小二)
 せんぷうききよ年のほこりそのまま 大垣市 中村 駿斗(小二)
 夏になり学校いくのもいやになる 大垣市 なす そうま(小三)
 青うめさん赤くなるまでまってね 大垣市 小林 昂汰(小三)
 つゆになり遊ぶ時間がへっちゃった 大垣市 西 航 世(小四)
 かきごおり赤青緑どれが好き？ 大垣市 畑中 ほのか(小五)
 きもだめし先生すごくこわくなる 大垣市 井上 奈菜未(小五)
 はざくらといっしょにうごく川の船 大垣市 大橋 明翔(小五)

入選

帰り道私をにらむあまがえる 大垣市 高木 美夕紀(小六)
 サングラスかけたところが真つ白だ 大垣市 森 大 河(小六)
 あまがえるあめの日にしかでてこない 大垣市 まきはら 太ろう(小二)
 じいちゃんちいつもかえりにほたる見る 大垣市 大橋 叶夢(小二)
 田うえするおいしいこめになるんだよ 大垣市 安田 真菜(小二)
 じんじんとからだがやけるなつがきた 大垣市 山川 珠里愛(小三)
 夏まつりしたいこのおとがひびいてる 大垣市 高橋 優菜(小三)
 ハチたちがみつをもとめてうごきだす 大垣市 坂 文 太(小五)
 こもれびが地面にアートをづくりだす 大垣市 川瀬 藤矢(小五)
 ありがとうカーネーションで伝えたよ 大垣市 渡邊 陽果(小六)

選者吟

浴衣着て裾の短き子が一人

拓 郎